

# タイトル『奇跡のバックホーム』

著者：横田 慎太郎 出版社：幻冬舎

この本は、著者である元阪神タイガースの横田 慎太郎さんのプロ野球生活であった、実際の物語である。

2016年、プロに3年目の夏が過ぎたころ頭痛が続いていた。しかも、なかなか痛みがひかなかった。

「これは本当におかしい……」と心配になったのは、チャンピオンシップ中の糸井自戦のときだった。そのとき、ありえないミスが続き、すぐに病院につれていった。もうと先生が「大きな病気です……脳腫瘍です。」

と告げられ呑み込めない、横田さんに先生はさらに、続けた「野球のことは、いったん忘れてください。」

その言葉が横田さんの身に飛び込んできた瞬間、頭が真、白になった。

そして、病と闘い、2019年9月26日に引退試合が行われました。

8回表にセンターの守備位置につき、

横田さんの前にライナーとなり、打球が飛んできた。いちばん見えにくい打球がきて、それでも気がつくと、足を前に出してキャッチャーにノーバウンドで送球し、アウトになった。

絶望に立ち向かう姿に誰もが感動した実話。

ぜひ読んでみて下さい！！

投稿日 ~~2018~~ 年 11 月 18 日

ペンネーム (本名は書かないでね！)

年齢

ゲームと野球が好きな中学生

14才

仙台市

図書館 YAコーナ